CHUBU

取扱説明書（保証書付）

型式　　ＤＤ３０ＳＡＡ

ＩＨコンロ

●安全に正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

●十分に理解されるまでお使いにならないでください。

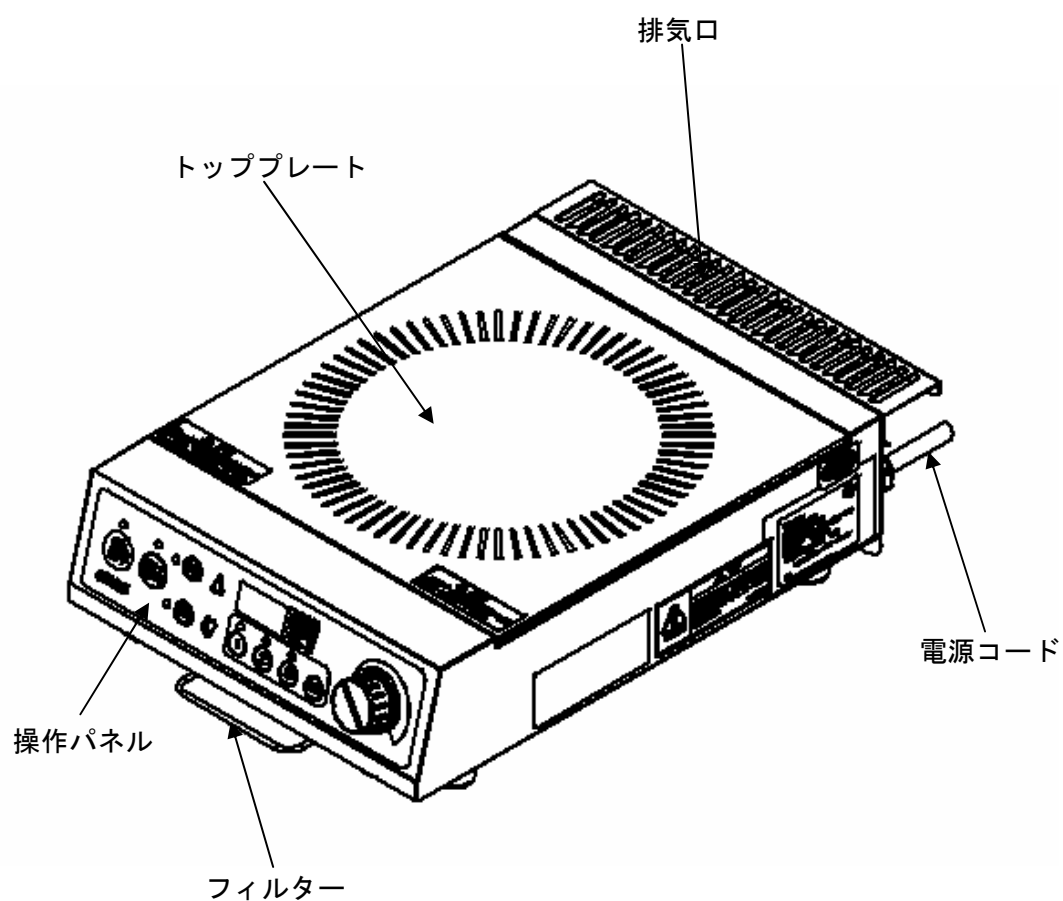
●この取扱説明書はすぐに取り出せるように大切に保存してください。

●この取扱説明書で「警告」は守らないと重大な人身事故の可能性があることを示し「注意」は守らないと中程度、または軽傷の人身事故の可能性があることを示します。

●仕様および外観は性能向上のため予告なく変更する場合があります。

もくじ

株式会社 中部コーポレーション

1　各部の名称

型式：ＤＤ３０ＳＡＡ

付属品

取扱説明書（保証書付き）

2　安全のため必ず守って下さい

●ご使用になる前に、この「安全のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。

●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。

●表示と意味は次のようになっています。

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が、想定される内容を示します。　＊

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

注　意	△は注意（危険・警告を含む）を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。
分解禁止	⃠ は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⃠ の中や近くに絵や文章で示します。
プラグを抜く	● は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、● の中や近くに絵や文章で示します。

警　告

●お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

もし、損傷があれば運送会社へ損傷の状況を（梱包の箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガ等の原因となります。

損傷確認

●アース工事を必ず行うこと

アース線はガス管、水道管、避雷針電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

（電気工事業者によるＤ種設置工事が必要です。）

アース工事

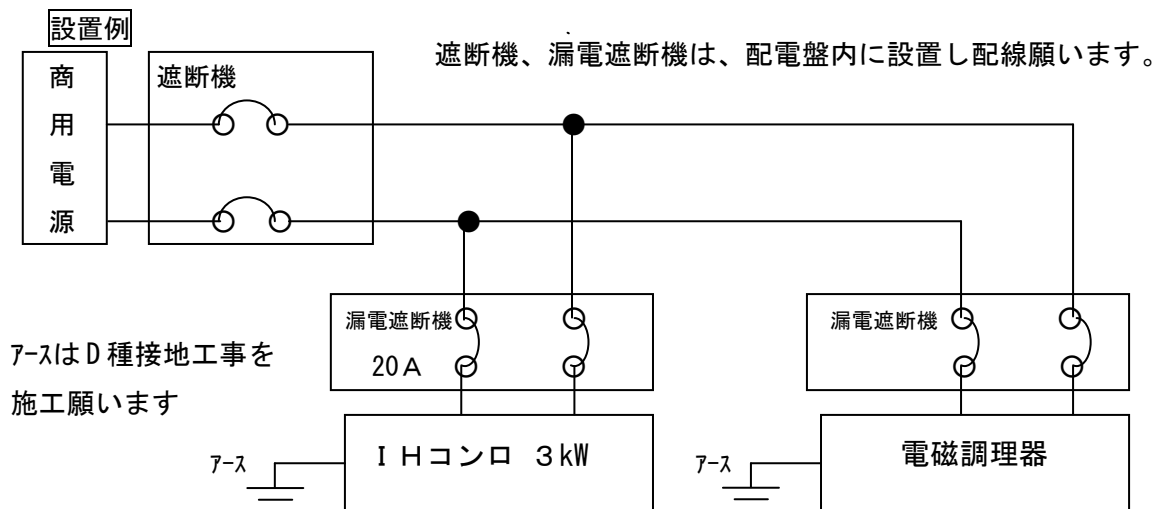
●絶縁試験（メガーテスト）をしないこと

メガーテストを行うと、製品が焼損または破損します。

禁　止

●本製品の１台につき１個の漏電遮断機（地絡過負荷・短絡保護兼用形）感度電流 30mA を以下のように設置すること

３kW の製品については定格２０Ａ以上の漏電遮断機を以下の結線図のように設置をして下さい。

漏電遮断機設置

●電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。（電源を入れる前に供給されている電圧が装置の規格と合っているか確認して下さい。）

専用電源

●屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。

屋外禁止

●本機は業務用ですので子供だけで使わせないでください

感電、ケガの原因になります。

禁　止

●電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

禁　止

●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと
ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

点検掃除

●濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、操作をしないこと
感電の原因になります。

濡手禁止

●異常時は、運転を停止し電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること
異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

プラグを抜く

●修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと
異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

●使用後のトッププレートは熱くなっていますので手を触れないこと
使用後しばらくは、鍋の熱でトッププレートが熱くなっていますので、手を触れないでください。火傷をすることがあります。

接触禁止

●トッププレートに衝撃を加えないこと
トッププレートはガラスですので衝撃を加えると割れます。
トッププレートにひびが入ったり、割れた場合は、販売店に連絡して下さい。
有償にて修理を致します。そのままでの使用は絶対にしないでください。
異常作動や感電の原因となります。

禁　止

●鍋の底に物を敷いて運転しないこと
鍋の底に紙や布などの物を敷くと鍋の熱でその物を焦がすことがあります。
また、それによって製品が壊れる可能性があります。

禁 止

●鍋の中に何も入れずに運転しないこと
鍋の中に何も入れずに運転すると火傷、火事等で危険ですのでしないでください。また、それによって製品が壊れる可能性があります。

禁 止

●水、油等の液体につけたり、かけないでください。
感電、ショート、発火の原因になり、製品が壊れる可能性があります。
また、ふきこぼれ等の場合は加熱を停止し、拭き取って下さい。
高温（200℃以上）の油などの飛散によってトッププレートの接着が損傷し、それによって製品が壊れることがありますので気を付けて下さい。

禁　止

●運転中は製品の使用場所から離れないこと

加熱物の温度が急上昇し、発火する恐れがあり、火傷、火災の原因となります。

禁 止

●心臓用のペースメーカーをご使用の方は、使用に注意してください。

心臓用のペースメーカーをご使用の方は、専門医師とよく相談の上、影響のないことを確かめてからご使用ください。

注 意

注 意

●丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

水平設置

●長時間使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜くこと。あるいは元電源を切ること

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

プラグを抜く

●廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。

専門業者

●排気口をふさがないこと

排気口のすぐ側にものを置くと内部の温度が高くなり、保護装置が作動して加熱が停止されますが、電気部品が故障する場合があります。

禁 止

●鍋はトッププレートの中央（円の中心）に置くこと

トッププレートの指定の場所からずらして加熱すると、パワーが落ちる場合があります。

注 意

●磁気製品を近づけないでください

磁気製品を近づけるとそれが壊れる場合があります。

注 意

●加熱中に電磁調理可能鍋以外の金属をトッププレート上に置かないこと。

電磁調理可能鍋以外の金属物（缶類、ナイフ、スプーン等）を加熱中にトッププレート上に置くと加熱してしまいます。

火傷等の危険がありますので絶対にしないこと。

禁 止

3　設置および使用前の準備

●丈夫で平らな所に水平になるように設置してください

本機は、正しく作動するために、水平な場所に設置してください。

●本機に水がかかる恐れがある付近には設置しないでください

電機部品に水がかかって火災・漏電・感電の原因となることがあります。

●電源は規格の電圧のものを使用してください

電源を入れる前に供給されている電圧が装置の規格と合っているか確認してください。

●電磁調理可能鍋を使用してください

本機械において鍋の形状・材質・大きさにより使用できない鍋があります。以下のものを参考にしてください。

使用できる鍋

鉄、鉄ホーロー、鋳物、ステンレス（18-0,18-10）等、磁石の吸い付く鍋で、鍋底の直径が１２cm以上で、底の平らな鍋、また、電磁調理器用に設計された鍋

（鍋底の直径が１２cm未満や底が平らでない鍋は加熱可能ですが、十分な加熱ができない場合があります。また、電磁調理器用の鍋でも磁性が弱いものだとパワーがでない場合があります。）

注意

鍋底が薄い鍋は、使用中にそる場合がありますので、厚手のものを使用してください。

使用できない鍋

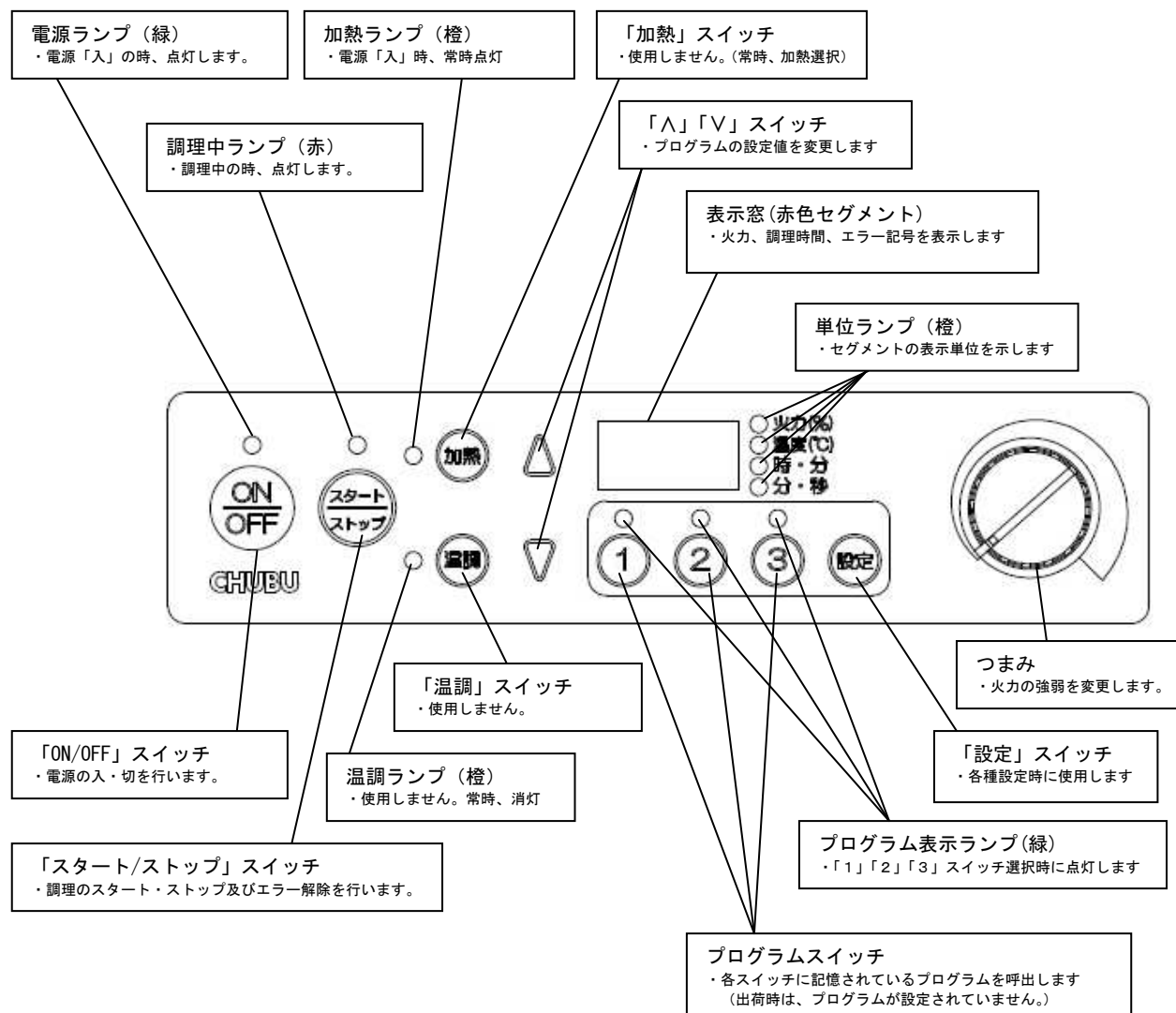
ガラス、アルミ、銅、陶磁器、土鍋等の磁石に吸い付かない鍋

アルミや銅鍋等に鉄を溶射した鍋

注意

使用できない鍋を加熱させると保護装置が働き、警報ブザーが鳴り「ｎＰ」と表示され、加熱が停止します。解除する場合は、「スタート/ストップ」スイッチを押してください。

4　使用方法

操作パネルの説明

1. 加熱運転（通常運転）

(1) 「ON/OFF」スイッチを押す。

・電源ランプ（緑）が点灯します。

(2) トッププレートの中央（円の中心）に鍋を置きます。

注　意

鍋はトッププレートの中央に置くこと。

トッププレートの中央（円の中心）からずらして調理すると、パワーがでない場合があります。

注　意

運転中に電磁調理可能鍋以外の金属等（缶類、ナイフ、スプーン等）をトッププレート上に絶対に置かないこと。

運転放置による保護機能はありませんので、運転中に金属物を置くと加熱してしまいます。火傷等の危険がありますので絶対にしないこと。

(3) 「スタート/ストップ」スイッチを押すと、調理を開始します。

・調理中ランプ（赤）が点灯します。

(4) 「つまみ」で火力の調節ができます。10%単位で火力を変更できます。

・表示窓に火力が表示されます。

・火力設定可能範囲：0%～100%

(5) 「スタート/ストップ」スイッチを押すと、調理を終了します。

・調理中ランプが消灯します。

・調理終了後、3 分後に冷却ファンが停止します。

(6) 使い終わったら「ON/OFF」スイッチを押し、OFF にします。

・電源ランプが消灯します。

注　意

冷却ファンが停止してから、「ON/OFF」スイッチを、OFF にして下さい。

2. プログラム運転

⑴　「1.加熱運転 ⑴～⑵」の要領で加熱したい鍋をセットします。

⑵　プログラムスイッチのいずれかを押し、表示窓の表示を「P1」「P2」
「P3」の何れかにします。
「１」の時「P1」、「２」の時「P2」、「３」の時「P3」になります。
・選択されたスイッチのランプ（緑）が点灯します。

⑶　「スタート/ストップ」スイッチを押すと、選択したスイッチに記憶されている
プログラムに従って調理を開始します。
・表示窓に各段階における残りの調理時間が表示されます。
・調理中に「設定」スイッチを押す毎に表示窓の表示が切り替わります。
　火力→残りの調理時間→火力
数秒間、何もしないと残りの調理時間表示に戻ります。
（プログラム設定方法は、次ページに記載されています。）

●プログラム運転は５段階まで設定可能です。

⑷　プログラム運転終了後、自動的に調理が停止します。
・終了ブザーが鳴り、調理中ランプが消灯します。
・プログラム運転中に「スタート/ストップ」スイッチを押すことにより、途中で
調理を停止することができます。

3. プログラムスイッチのプログラム設定記憶手順

ここでは、「１」スイッチで説明します。
「２」「３」スイッチの場合は、「１」スイッチを、「２」、「３」スイッチに
読み替えて下さい。

(1)「１」スイッチを選択
表示窓に「-1-」と表示されるまで、「１」スイッチを長押しします。
「１」のランプ（緑）が点滅します。

(2) １～５段階目の順に動作を設定
表示窓に今から設定する(※)段階名が表示されています。
(※) １段階回目の場合は「-1-」、２段階目の場合は「-2-」、以下「-3-」、「-4-」、「-5-」と表示されます。

①「設定」スイッチを押し②へ進みます。

②最初に火力（%）を設定します。
「∧」又は「∨」スイッチを押し、火力を設定します。
（火力は 10%単位で変更できます。）
「設定」スイッチを押し③に進みます。
（時間単位ランプが点滅します。）

③次に調理時間を設定します。
「∧」又は「∨」スイッチを押し、調理時間を設定します。
（0 分 00 秒～9 分 59 秒、0 時間 10 分～9 時間 59 分まで設定可能）
（「∧」又は「∨」スイッチを押し、繰り上がり（繰り下がり）すると、
単位ランプ（黄）は自動で切り替わります。）
「設定」スイッチを押し、④に進みます。

④次の段階名が表示されます。
（以下、５段階目まで設定を行います）

⑤５段階目（-5-）まで入力すると、設定を終了します。

段階途中で運転を終了したい場合は、その後の全ての設定を、火力「0」、運転時間「0.00」としてください。

５　日常の点検とお手入れの方法

１．フィルターの清掃

⑴電源を切り、機器が十分に冷えている事を確認してください。
⑵コンロ下部のフィルターを手前に引き抜いてください。
⑶中性洗剤で浸け置き洗いをしてください。
⑷自然乾燥させた後、組付けてください。

注　意
フィルターの手入れは１週間に１回行ってください。
使用環境が悪い場合や使用頻度が多い場合は、手入れの回数を増やしてください。
フィルターの無い状態や、フィルターが目詰まりした状態で運転をしないでください。
電気部品が壊れる原因となります。

２．トッププレートの手入れ

トッププレート上が汚れた場合、硬くしぼった濡れふきんで拭き取ってください。

注　意
トッププレートは常に汚れの無い状態で使用してください。
トッププレートに付着物が付いた状態で使用を続けると、加熱力が弱くなります。

６　消耗品の紹介

１．トッププレート

トッププレートは、衝撃・空焚き等により劣化します。
劣化時期は、使用状況により異なります。
ひび割れ・破損等劣化が発生した場合は、販売店より新品を購入し、
交換してください。

２．冷却用ファンモーター

通常は３年を目安として新品と交換してください。
交換作業は、作業専門者が行う必要がありますので販売店に連絡してください。

7　故障の見分け方と処置方法

以下の処置方法を行っても直らない場合や、以下以外の症状が発生した場合は、漏電遮断機を遮断し、販売店に連絡をしてください。１年以内であれば無償、それ以降は有償にて修理いたします。

症状	原因	処置方法
表示窓に何も表示されない	電源コードが外れています。	電源コードを正しく接続して下さい。
	漏電遮断器が OFF になっています。	漏電遮断器を ON にして下さい。
	「ON/OFF」スイッチが OFF になっています。	「ON/OFF」スイッチを ON にして下さい。
表示窓に OH と表示されている	本製品内部の冷却フィンが異常に温度上昇しました。	通常の温度に下がるまで（「スタート/ストップ」スイッチを押して解除されるまで）加熱をしないで下さい。また、フィルターが目詰まりしている可能性がありますのでフィルターを清掃して下さい。
表示窓に PH と表示されている	トッププレートが異常に温度上昇しました。	通常の温度に下がるまで（「スタート/ストップ」スイッチを押して解除されるまで）加熱をしないで下さい。（空焚き等で被加熱物の温度が高くなっている可能性があります。）
表示窓に LU と表示されている	機器に必要な電圧が低い。	正しい電源を使用してください。
表示窓にnPと表示されている	鍋が置かれていない。 鍋が正しい位置に置かれていない。	「スタート/ストップ」スイッチを押すと解除されます。 トッププレートの中央（円の中心）に鍋を置き、調理を開始して下さい。
	使えない鍋を使っている	「スタート/ストップ」スイッチを押すと解除されます。 使用できる鍋を使ってください。
表示窓に E31 と表示されている	過電流。（湿度が異常に高くないかなど、周囲の環境を確認して下さい。）	電源コードを一旦抜き、再度、差し込んで、再起動して下さい。 エラーが続く場合には、販売店に連絡して下さい。
表示窓に E33 と表示されている	電源周波数が異常である。	正しい電源周波数を使用して下さい。
表示窓に E34 と表示されている	インバータ基板の IC 異常。	販売店に連絡して下さい。
表示窓に E35 と表示されている	加熱コイルの過電流。	販売店に連絡して下さい。
表示窓に E95、E96、E97、E98、E99 のいずれかが表示されている	操作パネルとインバータの通信に異常があります。	販売店に連絡して下さい。
調理中に出力が低下する。	インバータ内部温度、またはトッププレート温度が高温になり、パワー抑制動作となっています。	温度上昇が抑えられると、元の出力に戻ります。 （フィルターが目詰まりしている。又は被加熱物の温度が高くなっている可能性があります。）
本体のケースに触るとピリピリと不快な感触がある	本体にアース線が接続されていない。	本体にアース線を接続して下さい。
	本体に接続されているアース線が断線している。	本体に接続されているアース線の点検を専門業者に依頼して下さい。

８　仕様

品名	ＩＨコンロ
型式	ＤＤ３０ＳＡＡ
定格電源	単相　２００Ｖ　５０Ｈｚ/６０Ｈｚ
定格消費電力	３kW±１０％
質量	８．７ｋｇ
外形寸法 （幅×奥行×高さ㎜）	３００×４５０×１１０

９　保証とｱﾌﾀｰｻｰﾋﾞｽについて

保証期間は、本体お買い上げ日から１年間です。

保証期間中は、保証書の規定に従って、無償修理させていただきます。
保証期間後は、診断して修理できる場合、ご要望により、有料で修理させていただきます。
有料修理につきましては、修理費用は、事前に見積金額として提示させていただきます。
修理費用は、技術料＋部品代＋出張料（運送費）で構成されております。
保証期間 1 年を経過した商品の修理後の保証につきましては、修理箇所についての保証のみで、修理品お届け後 6 ヶ月です。修理箇所以外で発生した故障につきましては、有料の修理となります。
保証期間後、予防保全の観点から、当社にオーバーホール定期点検の依頼がある場合、当社は、有料でオーバーホール定期点検を実施いたします。オーバーホールの依頼を受け、当社で定期点検修理を実施した商品につきましては、定期点検実施後、6 ヶ月の保証をいたします。

保証期間中においても、有料修理となる例

① 外力による破損（ﾄｯﾌﾟﾌﾟﾚｰﾄの破損、等）
② 製品の設置環境が仕様に記載された条件を逸脱して、使用されている。
③ 電源系統に落雷、電気工事などで、異常電圧が発生し故障した痕跡のある場合。
④ 高温（200℃以上）の油などの飛散によるトッププレート接着材の損傷による故障
⑤ 製品の内部に水などの浸入が認められる場合

交換部品

部品名	**標準交換時期**	**交換方法**
トッププレート	劣化発生時	新品と交換
冷却用ファンモーター	3 年	調査の上交換
加熱コイル	5 年	調査の上交換